

1. 略歴

- 1995年4月 東京大学文学部附属文化交流研究施設助教授
1996年11月 東京大学文学部附属文化交流研究施設教授
1997年8月 同 大学院人文社会系研究科附属文化交流施設教授
2004年4月 同 大学院人文社会系研究科言語動態学講座教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

言語学、ウラル諸語、ロシアの少数言語のテキストの電子化、コーパスを用いた文法研究

c 主要業績

(1) 研究報告書

「電子化された言語資料と個別言語研究」、2009.3

(2) 学会発表

「エストニア語の動詞 *joudma* の多義性について」、日本ウラル学会35回研究大会、2008.7.5

「エストニア語の動詞 *pruukima* 「必要だ；用いる」の多義性 —コーパスと辞書の記述に基づく考察—」、日本言語学会137回大会、2008.11.29

「エストニア語の他動詞文における「接格+動詞 *mast* 形」構文」、日本ウラル学会36回研究大会、2009.7.11

「コーパスから見える統語的变化—エストニア語の不定詞構文—」、日本言語学会139回大会、2009.11.28

(3) 受賞

「Maarjamaa Risti IV klassi teenetemark」、The 4th class Order of the Cross of Terra Mariana、エストニア共和国政府、2009.2.23

3. 主な社会活動

(1) 学会

日本言語学会、会計監査委員、2007～

Suomalais-Ugrilainen Seura [フィン・ウゴル学会]、一般会員、2007～

Suomalaisen Kirjallisuuden Seura [フィンランド文学協会]、一般会員、2007～

Societas Linguisticae Europae、一般会員、2007～

CONGRESSUS XI INTERNATIONALIS FENNO-UGRISTARUM]、国際委員、2008.1～

日本ウラル学会、理事、2008.1～2008.12

日本言語学会、評議員、2009.4～